

第 1 回朝霞市都市計画マスタープラン庁内検討委員会でいただいたご意見への対応方針

日時：令和 6 年 1 月 2 5 日（木曜日）10：00-11：50

場所：朝霞市役所 別館 2 階 全員協議会室

ご意見（要約）	対応方針
●都市計画マスタープラン策定の目的についてのご意見	
（小野澤委員）今後 20 年間に起こりうる変化として「高齢化の進展等による投資的経費等の圧迫」と書いてあるが、一般の人からみると、高齢化と経費圧迫との関係性がわからない可能性がある。	ご指摘を踏まえ、第 4 回都市計画審議会資料ではわかりやすいよう表現を修正した。
●区域区分の考え方についてのご意見	
（奥田委員）「現行計画における地域区分は、地形条件を考慮した境界線を持っており、人口動向や施設の立地による区域範囲への影響は少ない」という記述はもっとわかりやすくしてほしい、ということなのかわかりづらい。	ご指摘を踏まえ、第 4 回都市計画審議会資料ではわかりやすいよう表現を修正した。
（増田委員）日常生活圏を示す図があるが、令和 6 年の最新版では、日常生活圏域の区分が変更となっているため、資料の更新をしていただきたい。	ご指摘を踏まえ、第 4 回都市計画審議会資料では日常生活圏域の図面を最新版に差し替えした。
（多度津代理）小中学校の学区設定について所管課でも課題はあると認識している。都市マスにおける地域区分は学校区に合わせる必要はないと思う。将来生徒数の変化や人口構成の変化により、学校区が変更することは考えられる。 （櫻井委員）各計画の役割は異なり、検討の視点も異なるため、無理に地域区分を合わせる必要はないと思う。	頂いたご指摘や第 4 回都市計画審議会での意見を踏まえ、地域区分は現行計画と同様の主な地形地物による区分を採用することとした。
●総合計画との連携方法	
（又賀委員）総合計画との整合・連携について、現状の表現方法では具体的な連携の手段や時期がわからない。そのため、総合計画の策定工程等を参考に、具体的な連携の手段と時期を明記した方がわかりやすい。	ご指摘を踏まえ、第 4 回都市計画審議会では総合計画の連携方法をわかりやすい表現に修正した。総合計画側とは、委員会等の資料共有や市民意向の把握、アウトプットの調整等において連携を強化していく。
●アンケート調査について	
（大塚委員）市民アンケートは紙媒体の配布と Web 回答を併用するとはいえ、都市マスの策定にあたってアンケートとして、アンケート調査票の配布数は 2,000 人で適切なのか。	ご指摘を踏まえ、アンケート調査票の配布数を総合計画と同等の 3,000 人を対象に実施した。

ご意見（要約）	対応方針
<p>（宇野委員）2,000 人を無作為抽出しアンケート調査を実施する方式を取らず、広報等で周知し Web 上でアンケートに答えてもらう方法だけではだめなのか。</p>	<p>回答者の地域や年齢層の偏りの発生が懸念されることから、年代や地域等から調査対象者をバランスよく抽出することとした。調査対象者以外もアンケートに回答できるよう、広報やホームページでアンケート調査に関する周知を行う等の工夫をし、調査を実施した。</p>
<p>（須永委員）時代の潮流にあわせることは大事だが、高齢者への配慮も必要であり、アンケート調査は紙媒体と Web 実施の併用が適切だと思う。</p> <p>（須永委員）アンケート項目について、今後どのような検討をする予定なのか、それを検討するためにどのようなデータが必要なのかを考えながら、アンケート調査の項目を考えてもらいたい。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、アンケート調査は紙媒体と Web 実施を併用して実施した。</p> <p>アンケート項目についても、調査後の活用等を見据え項目を設定し、調査を実施した。</p>
<p>（奥田委員）他の計画策定において実施したアンケートの対象者と重複しないようにアンケート調査票の配布対象を抽出してほしい。</p>	<p>アンケート対象者は、他の計画策定において実施した対象者と重複しないよう抽出し実施した。</p>
<p>（奥田委員）アンケート調査で「あなたは、10、20 年後の朝霞市をどのようにしていきたいと思えますか」のような抽象的な設問は実は回答者にとって回答しづらいため、何を明らかにしたいのかを明確にしたうえで、具体的な質問を設定するなど、回答しやすい設問となるよう工夫してほしい。</p> <p>（多度津代理）問3の選択肢に「⑦通っていた学校」があるが、この質問はどのような意図で設定したのか。</p> <p>（大塚委員）「あなたが好きな場所」より「20 年後にあなたが残してほしい風景」の方が回答者にとって答えやすいかもしれない。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、回答者にとってのわかりやすさに重点を置き設問の見直しを行い、調査を実施した。</p>
<p>●合意形成プロセス</p>	
<p>（須永委員）前回都計審で受けた主な意見を載せているが、実際受けた意見は資料で提示した内容より厳しいものである。次回の都計審をスムーズに進めるために、それぞれの意見に対する対応をきちんと整理しておく必要がある。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、第4回都市計画審議会では第3回での意見に対する対応を資料に整理し提示した。</p>

以上